

令和元年度 地区要望の状況について

地区	内 訳	要望件数			備 考
		計	新規	継続	
菖蒲地区	市関係	6件	2件	4件	【現地確認】 令和元年8月1日（木）午後
	県関係	5件	0件	5件	
大島地区	市関係	14件	4件	10件	【現地確認】 令和元年8月2日（金）終日
	県関係	15件	2件	13件	
保倉地区	市関係	25件	6件	19件	【現地確認】 令和元年8月5日（月）終日
	県関係	5件	0件	5件	
旭地区	市関係	8件	3件	5件	【現地確認】 令和元年8月1日（木）午前
	県関係	0件	0件	0件	
計	市関係	53件	15件	38件	
	県関係	25件	2件	23件	
合 計		78件	17件	61件	

○要望箇所現地確認：市対応者

＊浦川原区総合事務所

- ・大坪所長又は長谷川次長
- ・渡辺建設グループ長、武田班長、石田副主任
- ・田中産業グループ長、山本班長、増田主任、山口主任

＊大島区総合事務所

- ・武田所長、小林次長、春谷班長

令和元年度 地区要望の状況について

【地区名】:大島区 菖蒲地区(市関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	菖蒲東	菖蒲農村環境改善センター駐車場舗装修繕	新規	産業	○	
2	牛ヶ鼻	市道下向線側溝敷設	継続	建設	○	
3	菖蒲西	市道菖蒲西中央線、西沖線、下山線及び西沖支線舗装修繕	継続	建設	○	
4	牛ヶ鼻	市道小高岩線路肩改良及び舗装修繕等	継続	建設	○	
5	牛ヶ鼻	市道下向線及び沖ノ鼻線舗装修繕	継続	建設	○	
6	牛ヶ鼻	牛ヶ鼻地内防火水槽の新設	新規	総務 地域	○	
	計	6件	新規 2件			

【地区名】:大島区 菖蒲地区(県関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	菖蒲東	国道405号側溝グレーチング蓋等設置	継続	建設	○	
2	菖蒲西	国道405号の排水路修繕	継続	建設	○	
3	菖蒲西	堀切川の河川改修	継続	建設	○	
4	菖蒲西	国道405号の雪崩防止対策	継続	建設	○	
5	菖蒲東	県道菖蒲高原線見晴らし台付近の景観整備 (菖蒲高原地内)	継続	建設	○	
	計	5件	新規 0件			

令和元年度 地区要望の状況について

【地区名】:大島区 大島地区(市関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	三竹沢	市道三竹沢中央線舗装修繕	継続	建設	○	
2	三竹沢	市道池の又線ガードレール基礎補修	新規	建設	○	
3	熊 田	上之山土水路改修(飯田文夫宅下)	継続	建設	○	
4	熊 田	U字溝等入替(小酒井正八宅裏付近)	継続	建設	○	
5	熊 田	カジャシキ山排水路U字溝の修繕	新規	産業	○	
6	仁 上	土砂流失防止策(横前沢地内)	継続	建設	○	
7	仁 上	仁上峠線集水柵の改良(横前沢)	継続	建設	○	
8	仁 上	仁上大橋の高欄改修	継続	建設	○	
9	大 島	大島生活改善センター玄関バリアフリー化	継続	産業	○	
10	大 島	大島生活改善センター小集会室の畳入替・ブラインド取付け	継続	産業	○	
11	大 島	大島生活改善センター軒天補修	継続	産業	○	
12	地 区	大島地域生涯学習センター駐車場の舗装と花壇の撤去	継続	教文	○	
13	地 区	ほたる橋の塗装	新規	産業	○	
14	地 区	ほたる公園散策路の照明器具修繕	新規	産業	○	
	計	14件	新規 4件			

【地区名】:大島区 大島地区(県関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	熊 田	水害防止対策(熊田三叉路)	新規	建設	○	
2	熊 田	ホタル水路土砂撤去・水漏れ補修	継続	建設	○	
3	仁 上	土砂流出防止対策工事 (高源寺裏の大久保川)	継続	建設	○	
4	仁 上	不動越地すべり地区用排水路改修 (山田地内)	継続	建設	○	
5	仁 上	不動越地すべり地区用排水路修繕・U字溝布設 (不動越地内)	継続	建設	○	
6	仁 上	不動越地すべり地区排水路落差工及びU字溝改修 (川入地内)	継続	建設	○	
7	仁 上	保倉川護岸改修(正面倉川からの用水取水口)	継続	建設	○	
8	石 橋	栃山川の河川改修(早川スイ宅前)	継続	建設	○	
9	棚 岡	保倉川の護岸改修(堂の久保地内)	継続	建設	○	
10	棚 岡	沢入川護岸改修(古川加津子宅前)	継続	建設	○	
11	棚 岡	上越安塚柏崎線排水路改修(集水柵、排水パイ プに土砂の堆積)	継続	建設	○	
12	大 島	北屋敷沢砂防工事(共同墓地裏)	継続	建設	○	
13	大 島	築堤工事(金沢地内)「市道道田線が冠水」	継続	建設	○	
14	大 島	保倉川右岸の立木伐採(村松一信畑横)	新規	建設	○	
15	中 野	国道403号の側溝改修(坂田忠宅下)	継続	建設	○	
	計	15件	新規 2件			

令和元年度 地区要望の状況について

【地区名】:大島区 保倉地区(市関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	上 達	市道上達細野線側溝修繕(武田政臣宅前)	新規	建設	○	
2	上 達	市道上達細野線路肩修繕(上達会館から30m先)	新規	建設	○	
3	上 達	市道上達細野線道路拡幅整備	継続	建設	○	
4	細 越	水路集水桝の改修(高橋美容室脇)	継続	建設	○	
5	細 越	市道大新田線の水路改修	継続	建設	○	
6	細 越	市道西山線側溝改修(高橋昭一郎宅脇)	継続	建設	○	
7	達	農免農道糶山線の花壇ブロック撤去	新規	産業	○	
8	達	モグラ沢護岸改修(住宅地对岸側)	新規	建設	○	
9	達	市道達居村線法面改修(早川洋一宅西側)	継続	建設	○	
10	達	市道糶山線安全柵設置	継続	建設	○	
11	達	モグラ沢法面改修(防火水槽付近)	継続	建設	○	
12	大平	市道大平上村線路面・路肩修繕	新規	建設	○	
13	大平	市道東頸城幹線の立木・枝処理	新規	建設	○	
14	大 平	市道大平岩栗線のコンクリート舗装修繕	継続	建設	○	
15	大 平	市道梨ノ木線道路改良	継続	建設	○	
16	大 平	小野沢水路修繕	継続	建設	○	
17	大 平	市道大新田線側溝清掃	継続	建設	○	
18	上 岡	市道宮ノ崎線側溝流末修繕(改良)	継続	建設	○	
19	上 岡	市道宮ノ崎線法面改良等(雪崩防止)	継続	建設	○	
20	上 岡	市道上岡線側溝の改修	継続	建設	○	
21	上 岡	市道梨ノ木線のガードケーブル支柱復元修繕	継続	建設	○	
22	千 原	千原橋欄干の修繕	継続	建設	○	
23	千 原	市道宮ノ崎線側溝流末修繕	継続	建設	○	
24	千 原	市道梨ノ木線側溝・路面清掃及び除草	継続	建設	○	
25	千 原	市道梨ノ木線イブ沢排水口改修	継続	建設	○	
	計	25件	新規 6件			

【地区名】:大島区 保倉地区(県関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	細 越	県道上越安塚柏崎線の細越地内歩道に係る凍結防止対策、歩道法面除草	継続	建設	○	
2	細 越	保倉川護岸整備(西山橋上流左岸)	継続	建設	○	
3	長者島	保倉川護岸整備(下岡橋下流左岸)	継続	建設	○	
4	長者島	保倉川護岸整備(長者島橋下流左岸)	継続	建設	○	
5	下岡	下岡橋右岸通路舗装整備	継続	建設	○	
	計	5件	新規 0件			

令和元年度 地区要望の状況について

【地区名】:大島区 旭地区(市関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	田 麦	自動車ポンプ置場(大島方面隊第1分団第1部) の新築	継続	総務 地域	○	
2	田 麦	市道田麦下村線側溝の蓋設置	継続	建設	○	
3	藤 尾	林道高所線暗渠の改良と法面工事	継続	産業	○	
4	田 麦	市道田麦角間線コンクリート舗装	継続	建設	○	
5	田 麦	旭農村環境改善センターの屋根舗装	継続	産業	○	
6	田 麦	市道田麦下村線雪崩防止(段切り2箇所)	新規	建設	○	
7	田 麦	市道田麦下村線舗装修繕	新規	建設	○	
8	田 麦	市道田麦下村線側溝の蓋修繕	新規	建設	○	
	計	8件	新規 3件			

【地区名】:大島区 旭地区(県関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
		要望なし				
	計					

(単位：千円)

決算書 (P222～P223)	4款1項5目 診療所費	所管課等	健康づくり推進課 地域医療推進室
事業名	大島診療所管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
36,227	31,466				31,466 (使用料ほか)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,761			130	4,631	

【目的】

大島診療所を運営し、大島区における地域住民の健康保持・増進及び医療不安の軽減を図るとともに、市内の病院との連携により地域医療を確保する。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

名称	大島診療所
位置	上越市大島区棚岡 1540 番地 1
運営方式	直営
診療日	毎週月曜日から土曜日 (水・土曜日は午前のみ)
診療科目	内科、外科、小児科

・診療日数及び延べ患者数

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			計画	実績
診療日数(日)	292	293	293	292
延べ患者数(人)	4,172	3,914	3,772	3,922
1日平均(人)	14.3	13.4	12.9	13.4

決算書 (P222～P223)	4款1項5目 診療所費	所管課等	健康づくり推進課 地域医療推進室
事業名	大島診療所管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
			予算	実績		
①収入	使用料及び手数料	51,421	49,547	48,929	45,376	
	県支出金	534	-	-	-	
	諸収入	4,302	3,095	3,778	3,307	
	合計	56,257	52,642	52,707	48,684	
②支出	報酬	1,565	1,595	1,618	1,618	
	共済費	215	222	232	226	
	旅費	142	142	142	142	
	需用費	医薬材料費	27,180	26,065	26,423	22,558
		その他	5,114	2,140	1,449	1,236
	役務費	617	676	667	601	
	委託料	2,750	2,703	3,369	3,013	
	使用料及び賃借料	1,896	1,788	2,226	1,464	
	備品購入費	1,069	-	389	378	
	負担金	208	224	229	231	
	公課費	-	25	-	-	
合計	40,756	35,580	36,744	31,466		
③公費投入額(②-①)	△15,501	△17,062	△15,963	△17,218		

※正規職員4人(医師1人、看護師2人、事務1人)の人件費40,901千円は、4款1項1目の保健衛生総務費職員人件費に計上

※端数処理のため、合計とその内訳が一致しない場合がある。

【事業の成果】

大島診療所を運営することにより、地域住民が安心して受診できる診療体制を確保し、地域住民の健康保持・増進及び医療不安の軽減を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

患者数は少ないものの、引き続き地域住民の医療不安の軽減に向けて、継続的な医療環境を確保する必要がある。

【執行残額について】

○入札差金

・修繕料、備品購入費 130

○その他

・当初見込んだ患者数を下回ったことに伴う医薬材料費、診療機械借上料等の残 3,920

・光熱水費や電話料金等が見込みを下回ったことなどによる残 711

(単位：千円)

決算書 (P252～P253)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島ゆきわり荘管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,334	2,275				271 (使用料、譲収入)	2,004
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
	59			8	51	

【目的】

地域の農林産物の特産品づくりにおける研修や地域振興のための会議、交流活動の場を提供することで、農業を通じた市民の生活文化の向上を図る。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・大島ゆきわり荘の維持管理及び運営

所在地	大島区大平 3874 番地 1
設置	平成9年度
構造	鉄骨造 2 階建
面積	498.30 m ²
管理	直営 (業務委託)

○施設の管理実績

- ・利用者数等

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			計画	実績
利用者数	2,039 人	1,748 人	-	931 人

決算書 (P252～P253)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島ゆきわり荘管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
			予算	実績	
①収入	使用料収入	67	65	59	52
	その他	219	219	219	219
	合計	286	284	278	271
②支出	施設維持管理費	2,078	2,114	2,334	2,275
	うち委託料	872	766	774	766
	その他	-	-	-	-
	合計	2,078	2,114	2,334	2,275
③公費投入額(②-①)		1,792	1,830	2,056	2,004
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)		879	1,047	-	2,153

【事業の成果】

- ・農産加工品(味噌・麴)づくりの場を提供することにより、地域住民の生きがいや地元農産物の活用等地域の活性化が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域の過疎高齢化により今後の大幅な利用増は見込めないが、主に冬期間の味噌や麴づくり、サークル活動等で一定の利用者がいることから、利用実態にあわせた管理運営を行い、住民の交流活動の場や、地域の会議・交流活動の場を提供する。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 8
委託料(8)
- ・その他：燃料費、光熱水費等の実績が当初の見込みを下回ったため 49
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P252～P255)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島青空市場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,096	5,454				399 (歳入)	5,055
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	642				642	

【目的】

地域の農林業者が生産した安全・安心な農林産物及び特産品を展示・販売、PRすることにより、地産地消を促進する。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

1 施設譲渡

上越市公の施設の再配置計画に基づき、平成29年度末をもって公の施設を廃止し、平成30年4月1日にゆきぐに森林組合に施設を無償譲渡した。

2 修繕等補助金 4,676

譲渡後にゆきぐに森林組合が実施した店舗玄関前木質デッキ修繕等に係る費用の全額を補助金として交付した。

3 施設の概要

- ・所在地 上越市大島区岡403番地
- ・構造等 木造平屋建 延床面積128.20㎡
- ・施設内容 農林水産物及び特産品の展示・販売用店舗

【事業の成果】

- ・譲渡先が行う施設修繕に要する経費の支援を行うことで、施設利用者の安全の確保と快適な施設内環境を整備することができた。

【執行残額について】

- ・その他：公衆トイレの光熱水費等の実績が当初の見込みを下回ったため 27
- 事業実施に伴い端数残額が発生したため 1
- 施設修繕の補助対象事業費の実績が当初の見込みを下回ったため 614

(単位：千円)

決算書 (P254～P255)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島農業実習交流センター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,348	1,198				436 (借入金)	762
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	150			10	140	

【目的】

花や野菜の栽培方法や稲作栽培などの農作業体験の拠点施設として、適正な管理と効率的な運営を行う。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・大島農業実習交流センターの維持管理及び運営

所在地	大島区牛ヶ鼻2649番地
設置	平成7年度
構造	鉄骨造2階建
面積	302.58㎡
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

- ・利用者数等

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			計画	実績
利用者数	5,048人	5,062人	-	5,037人

決算書 (P254～P255)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島農業実習交流センター管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	412	429	434
	合計	412	429	434
②支出	施設維持管理費	1,319	1,219	1,348
	うち委託料	442	442	442
	その他	-	-	-
	合計	1,319	1,219	1,348
③公費投入額(②-①)		907	790	914
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)		180	156	151

【事業の成果】

- ・越後田舎体験の取組や区内小・中学校の農業体験等の受入れにより、地域住民との交流と体験活動を通して農業に対する関心を高めるきっかけづくりができた。
- ・地域住民の花づくり、野菜づくり等の栽培技術の向上のため栽培指導会を実施し、地域に貢献した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・継続して栽培指導会の実施や、農業体験のメニューを増やすなど、利用者増に向けた取組を進める。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 10
修繕料(10)
- ・その他：燃料費、光熱水費等の実績が当初見込みを下回ったため 139
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和元年 8月 27日	担当部署	農林水産部 農政課
-------	-------------	------	-----------

※以下は平成 31 年 3 月 31 日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人等名称	公益財団法人 大島農業振興公社				
代表者名	理事長 高橋 三登一				
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤				
	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市派遣 <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他				
所在地	新潟県上越市大島区牛ヶ鼻 2649 番地				
設立年月日	平成 6 年 3 月 7 日	基本金	51,000 千円	市出捐割合	98.0%
設立目的	上越市大島区の区域における農業の担い手の育成、農作業の支援等を行うことにより、中山間地域の農業生産の維持及び向上並びに農地の効率的利用を図り、もって、大島区の区域の農業振興に寄与することを目的に設立。				

3 組織

(単位：人)

役員	常勤 非常勤 計	理事・ 取締役	監事・ 監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
職員	正職員	—	—	6	6			
	臨時職員	—	—	0				
	パート職員等	—	—	0				
	計	—	—	6	6			

4 主な事業

(1) 農業の担い手の育成に関する事業
(2) 農作業の支援に関する事業
(3) 農用地の保全に関する事業
(4) 前 3 号に掲げる事業に関する情報の収集及び提供に関する事業
(5) 農地の有効利用及び効率的な使用を促す農地の貸し切り等権利調整に関する事業
(6) 技術習得等を目的とした研修等事業
(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

5 事業実績（概要）

○農作業支援事業

・基幹農作業受託事業

農業従事者の高齢化や若年労働者の減少が進む中、耕作放棄地の防止を図るため、基幹農作業を受託した。

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
耕うん	10.8ha	9.0ha	5.4ha
代かき	11.9ha	11.0ha	9.9ha
田植え	7.2ha	6.8ha	7.0ha
刈取り	11.3ha	13.2ha	10.0ha
延べ面積	41.2ha	40.0ha	32.3ha

・農地集積及び農地借入れによる農業経営

農業従事者の高齢化や後継者不足による耕作放棄地の発生防止のため、担い手への農地集積を推進するとともに、受け手がない農地については公社自らが担い手となり管理耕作した。

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
借入面積	45.1ha	40.3ha	37.7ha
公社耕作面積 (水稲作付面積)	20.1ha (14.1ha)	20.9ha (14.8ha)	21.6ha (15.3ha)
水稲収穫量 (10a 当たり収量)	68t (8.0 俵)	59t (6.7 俵)	51t (5.5 俵)

生産した米は、「おおしま育ち」の名称で全国各地へ販売した。品質・安全性等の面で好評を得るも、販路が固定化し減少傾向にある。収量については、干ばつの影響により減収となった。

○園芸事業

・花苗生産

上越市との契約及び JA えちご上越の協力により、温室 2 棟を活用し花苗の生産を行った。

・農産物生産

温室の有効活用と地域に根付いた振興を目標に、自然薯やアスパラガス、その他野菜の栽培に取り組んだ。

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
花苗生産	5,314 千円	5,069 千円	4,889 千円
野菜生産等	5,457 千円	3,829 千円	5,170 千円
合計	10,772 千円	8,898 千円	10,059 千円

○大島農業実習交流センター管理事業

市からの業務受託により大島農業実習交流センターの管理業務を行った。

○地域マネジメント組織の事務を支援

集落を超えて連携し地域の課題に取り組む組織の支援（中山間地域等直接支払交付金など）を行った。大島区農業振興会（16 支部）、多面的機能支払（14 組織）

6 財務状況

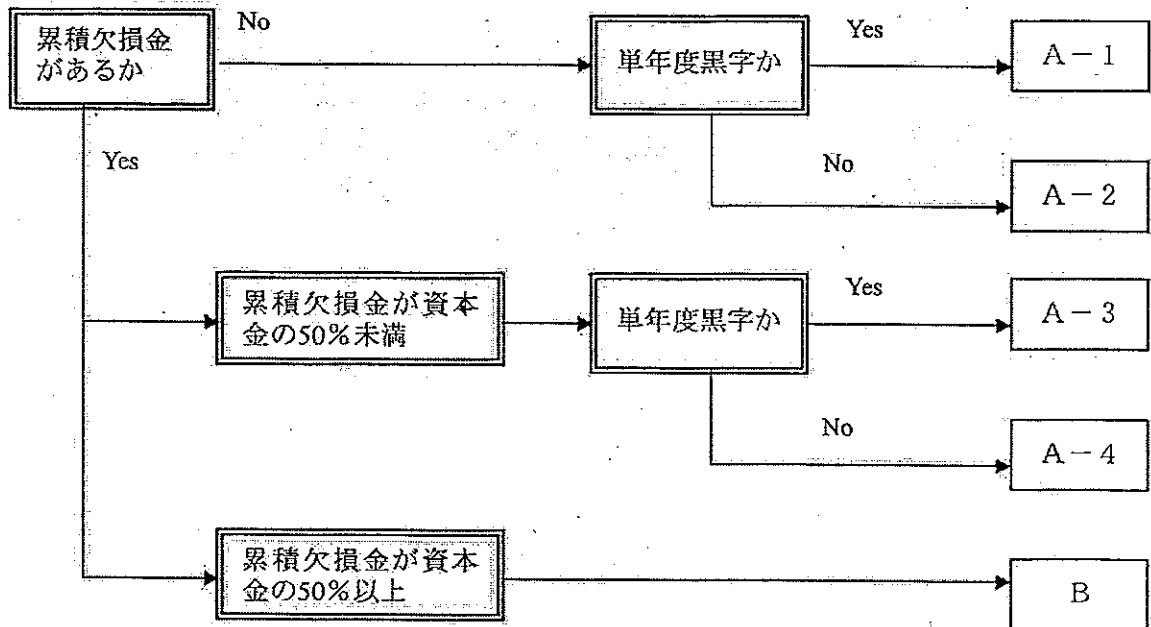
(単位：千円)

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	自平成30年4月1日 至平成31年3月31日	
一般正味財産増減の部				
経常収益	65,475	63,504	61,145	
基本財産運用益	10	5	5	
特定資産運用益	0	0	0	
受取会費	0	0	0	
事業収益	57,179	55,371	50,882	
受取補助金等	7,785	7,709	6,350	
その他経常収益	501	419	3,908	
経常費用	65,164	63,838	※62,349	
事業費	63,746	62,181	60,740	
管理費	1,418	1,657	1,610	
当期経常増減額	311	△334	△1,204	
経常外収益	30	630	1,300	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	30	630	1,300	
税引前当期一般正味財産増減額	341	296	96	
法人税等	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	341	296	96	
一般正味財産期首残高	33,926	34,267	34,563	
一般正味財産期末残高	34,267	34,563	※34,658	
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	△569	△570	△570	
指定正味財産期首残高	54,184	53,615	53,045	
指定正味財産期末残高	53,615	53,045	52,475	
正味財産期末残高	87,882	87,608	※87,134	
項目	平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在	平成31年3月31日現在	備考
貸借対照表				
資産	100,139	100,983	100,220	
負債	12,257	13,375	13,087	
正味財産	87,882	87,608	※87,134	
指定正味財産	53,615	53,045	52,475	
一般正味財産	34,267	34,563	34,658	

※ 端数処理の関係から数値が符合しません。

7 経営状況の予備的診断

予備的診断フロー



評価	A-2
----	-----

評価基準		備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の場合	引き続き経営努力を行う。
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の場合	複数年の経過を注視しながら引き続き経営努力を行う。
A-3	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。
A-4	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努力を要する。
B	累積欠損金が資本金の50%以上の場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

特になし。

※ 公益法人においては、損益計算書を収支計算書・正味財産増減計算書に、当期利益を当期正味財産増減額に、累積欠損金を正味財産の部合計に読み替える。

8 市の関与の状況

(1) 市の委託額

(単位：千円)

内訳	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
① 農業実習交流センター委託	384	400	340	
② 除雪作業委託	3,115	3,647	3,724	
③ 温室除排雪作業委託	1,029	1,056	1,063	
④ 公共花壇等管理運営業務委託	6,834	6,723	6,489	
⑤				
計	11,362	11,826	11,616	

(2) 市の財政援助額

(単位：千円)

内訳	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
① 補助金(助成金)	3,270	3,140	3,070	運営費補助金
② 貸付金	0	0	0	
③ 損失補償	0	0	0	
④ 債務保証	0	0	0	
⑤ その他()	0	0	0	
計	3,270	3,140	3,070	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

設立当初の基本理念及び定款に定める目的に基づいた事業展開を行い、また、関係機関との連携を図り、農政活動や地域農業への支援体制を強化するとともに、公社自身の経営の健全化及び財政的な自立に向けた努力を継続し、地域農業を支える公社機能の充実に努める。

項目	令和元年度計画	平成30年度実績
農作業支援事業(基幹農作業受託事業)	32.5ha	32.3ha
地域農業活性化事業(水稲作付面積)	15.7ha	15.3ha
花苗生産	4,933千円	4,889千円
野菜生産等	4,696千円	5,170千円
植栽管理	2,891千円	2,703千円
マネジメント事業	5,654千円	5,662千円

(2) 中長期経営計画

なし

(単位：千円)

決算書 (P266～P267)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,813	6,811					6,811
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2			2		

【目的】

森林の有する幅広い効用を活用するとともに、野外での交流等の場を提供することにより、地域住民の連帯感の醸成及び市民の健康増進並びに農林業者の就業機会の拡大に寄与する。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- ・施設利用者数 2,800人

○実施内容、これまでの経過等

- ・施設の概要

名称	菖蒲高原緑地休養広場
位置	大島区菖蒲2962番地1
設置目的	森林の有する幅広い効用を活用するとともに、野外での交流等の場を提供することにより、地域住民の連帯感の醸成及び市民の健康増進並びに農林業者の就業機会の拡大に寄与する。

- ・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	菖蒲高原管理運営組合
指定の期間	平成28年4月1日から平成31年3月31日まで

○施設の管理実績

- ・利用者数等

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			計画	実績
利用者数	2,638人	2,788人	2,800人	2,715人
宿泊者数	685人	792人	-	713人
日帰り者数	1,953人	1,996人	-	2,002人

決算書 (P266～P267)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			予 算	実 績
①収入	-	-	-	-
②支出	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,290	6,290	6,290
	管理運営委託料以外の経費	845	589	523
	合計	7,135	6,879	6,813
③公費投入額 (②-①)	7,135	6,879	6,813	6,811
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位:円)	2,705	2,467	2,433	2,509

○指定管理者制度の導入効果等

・指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理平均額 (決算ベース)	①	6,437
平成 30 年度の指定管理料 (委託料)	②	6,290
指定管理料の増減額	①-②	147

※管理内容を見直ししたため、指定管理委託料が減少した。

(参考) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
			計 画	実 績
①収入	利用料金収入	1,732	2,075	1,300
	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,290	6,290	6,290
	その他	545	1,263	1,400
	合計	8,567	9,628	8,990
②支出	8,190	8,915	8,990	9,107
差引 (①-②)	377	713	0	732

○目標達成状況

・インターネット予約の活用などにより利用者確保に努めたが、繁忙期である 8 月に猛暑日が多く宿泊利用が少なかったことから、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

・施設内の維持管理を適切に行い、野外での交流等の場を提供することにより、市民の健康増進が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

・周辺の観光スポットと連携を図り、更なる利用者増に取り組む必要がある。

【執行残額について】

・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	7款1項2目 商工振興費	所管課等	産業政策課 (平成30年度所管は産業振興課)
事業名	商業振興支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
67,657	66,416			4,200	5,832 (徴収)	56,384
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,241	92			1,149	

【目的】

商工団体等が実施する賑わい創出のイベントや、地域事業者の主体的な取組への支援を通じて集客力の向上や売上の増加を図り、地域経済の活性化につなげていく。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

大島やまざくら管理運営業務 5,157

○平成30年度目標

- ・施設利用者数 57,100人

○実施内容、これまでの経過等

生鮮食品や日用品を扱うスーパーマーケットである「大島やまざくら」の運営を指定管理業務として委託するとともに、年4回の販売戦略会議や毎月の月次報告書により経営状況を確認し、経営改善と売上の維持・確保に向けた協議、助言を行った。

- ・指定管理者 有限会社やまざくら
- ・指定期間 平成28年4月1日から平成31年3月31日

【施設の利用実績】

(1) 利用者数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			計画	実績
利用者数	50,701人	46,703人	57,100人	47,489人

決算書 (P274～P275)	7款1項2目 商工振興費	所管課等	産業政策課 (平成30年度所管は産業振興課)
事業名	商業振興支援事業		

(2) 指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	大島やまざくら 管理運営委託料	3,843	4,252	4,714	4,714
	公共建築物定期 点検業務委託料	335	-	-	-
	事業用備品購入費	578	-	443	443
	合 計	4,756	4,252	5,157	5,157
③公費投入額 (②-①)	4,756	4,252	5,157	5,157	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	94	91	90	109	

(参考) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況 (税抜)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	-	-	-	
	大島やまざくら 管理運営委託料	3,558	3,937	4,365	4,365
	その他	61,164	59,561	63,939	60,661
	合計	64,722	63,498	68,304	65,026
②支出	62,200	61,376	66,595	63,109	
差引 (①-②)	2,522	2,122	1,709	1,917	

○目標達成状況

- ・地域の人口減少及び高齢化に伴う利用者の減少により、施設利用者数は47,489人(計画比83.2%)と目標数に至らなかったものの、冬期間の降雪が例年に比べて少なかったことなどにより、利用者数が平成29年度に比べ1.7%増加した。
- ・浦川原区での移動販売は、売上が安定して推移しており、経営改善に寄与している。

(参考) 浦川原区における移動販売 (自主事業) 実施状況

実施回数	売上高	利用者数
週1回 (毎週火曜日)	3,132千円	1,446人

地域商業活性化事業補助金 25,824

○平成30年度目標

補助件数: 一般枠11件、特別枠12件

決算書 (P274～P275)	7款1項2目 商工振興費	所管課等	産業政策課 (平成30年度所管は産業振興課)
事業名	商業振興支援事業		

○目標達成状況

- ・「eコマースセミナー」及び「ネットショップ個別相談会」を開催し、市内中小企業や、創業希望者のeコマース参入への機運醸成やネットショップにおける販売スキルの向上を図った。
- ・IT活用販売促進事業補助金の件数が目標に達し、新たに5事業者がeコマースに参入した。

【事業の成果】

- ・大島やまざくらは、大島区の人口減少、高齢化等の影響により、店舗販売部門の売上は減少傾向にあるものの、自主事業として平成27年度から開始した浦川原区の一部地域における移動販売の売上は伸びている。
- ・地域商業活性化事業補助金は、各区商工会や商店街による地域の消費喚起や、各地区の産品や商店街の魅力発信等の取組を支援し、各店舗の売上増加や新規顧客の獲得、更には地域商業の活性化に寄与することができた。
- ・地域経済活性化店舗等改装促進事業補助金の交付により、店舗の改装や事業用設備の更新等が促進され、各店の集客力や事業効率が向上したほか、市内施工業者の受注機会の増加にもつながった。
- ・オラレ上越の運営については、周辺地域との調和を図りつつ、円滑に行うことができた。
- ・人口の減少に伴い既存の商圈人口が減少する中、eコマースへの新規参入や既参入者が抱える課題に対応した「eコマースセミナー」を開催することで、インターネットを活用した新たな市場開拓や販路開拓を支援することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・大島やまざくらは、大島区の人口減少、高齢化の影響を受け、売上、利用者が減少傾向にあることから、改めて施設利用者のニーズを把握し、多くの地域住民から利用してもらえるための方策を講じる必要がある。
- ・地域商業活性化事業補助金は、消費者の需要や消費税率引き上げ等の環境変化を捉えた取組となるように、効果の検証や事業結果のフィードバックに取り組む必要がある。また、地域経済への効果が、一過性ではなく、持続性が高い取組を行うよう促していく必要がある。
- ・地域経済活性化店舗等改装促進事業補助金は、経済対策として一定の効果は得られているものの、30年度に実施したアンケートでは、補助事業により売上が増加した事業者は2割弱にとどまった。
- ・eコマース参入後の業績は、各事業者の日々の業績分析や情報発信などの取組内容によって大きな差が生じている一方で、それらのノウハウを市主催のセミナーで事業者へ伝えることは難しいことから、既にネットショップに参入している事業者により構成する任意団体が自主的に行っている事業者間でのノウハウの共有や共通課題に対する勉強会などの活動に、新規参入者や参入後業績が伸び悩んでいる事業者からも参加してもらえるよう誘導していく。

【執行残額について】

事業費節減：独立行政法人中小企業基盤整備機構との連携による講師謝金の節減	92
その他：地域商業活性化事業補助金の実績が見込みを下回ったため	749
その他事業実施に伴う執行残	400

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和元年8月27日	担当部署	産業観光交流部 産業政策課
-------	-----------	------	---------------

※以下は平成31年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人等名称	有限会社 やまざくら				
代表者名	取締役 岩野 虎治				
代表者名	<input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤				
	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市派遣 <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他				
所在地	新潟県上越市大島区大平 3874 番地 1				
設立年月日	平成9年7月14日	資本金	11,600千円	市出資割合	98.3%
設立目的	上越市の食料品等販売施設「大島やまざくら」の管理運営、米穀類、農産物、山菜、花卉、食料品、清涼飲料水及び日用雑貨の販売、惣菜の製造販売等の事業を行うため。				

3 組織

(単位：人)

役員	常勤 非常勤 計	理事・ 取締役	監事・ 監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	—	—	0	0			
	非常勤	1	1	2	2			
	計	1	1	2	2			
職員	正職員	—	—	2	2			
	臨時職員	—	—	0	0			
	パート職員等	—	—	4	4			
	計	—	—	6	6			

4 主な事業

(1) 大島やまざくらの管理運営
(2) 大島やまざくらの経営 (米穀類、農産物、花卉、食料品、日用品雑貨及び酒類、たばこの販売)
(3) 惣菜の製造販売
(4)
(5)
(6)
(7)

5 事業実績（概要）

- ・ 第22期（平成30年度）の営業収益（売上高）は、前期と比較して1,531千円増（2.4%の増）の64,130千円となりました。店舗部門では、冬期間の天候が穏やかであったなどにより利用客数が増加したことや、移動販売部門においても、利用客数が増加したことに加え、一人当たりの購入単価も増加したことで、全体としての営業収益が増加しました。
- ・ 営業費用のうち売上原価では、営業収益が増加したことなどにより、前期と比較して1,147千円増（2.5%の増）の46,429千円となりました。また、一般管理費・販売費では、従業員給与が増加したことなどにより、前期と比較して802千円増（5.2%の増）の16,025千円となりました。
- ・ この結果、最終的な当期純利益は1,917千円となり、5期連続の単年度黒字を達成しました。これにより、当期末の累積欠損金は104千円に改善されました。

【第22期（平成30年度）の営業概要】

- ・ 店舗への誘導効果を見込み、駐車場入口（国道253号線沿い）にLED看板を設置しました。
- ・ POSレジを活用して経費削減に取り組んだほか、従業員が店舗の計数情報を把握することにより、経費削減や売上増加に向けた意識付けを行いました。

【営業収益（売上高）の実績】

（単位：千円）

部門	第20期 （平成28年度）	第21期 （平成29年度）	第22期 （平成30年度）
店舗	51,857	48,388	48,953
移動販売	8,395	10,274	10,812
指定管理料	3,558	3,937	4,365
合計	63,810	62,599	64,130
うち自主事業*	1,230	2,313	3,132

【利用者数の実績】

（単位：人）

部門	区分	第20期 （平成28年度）	第21期 （平成29年度）	第22期 （平成30年度）
店舗	目標	56,000	55,000	54,000
	実績	46,568	42,496	43,213
移動販売	目標	3,100	3,100	3,100
	実績	5,001	5,600	5,641
合計	目標	59,100	58,100	57,100
	実績	51,569	48,096	48,854
うち自主事業*	実績	831	1,422	1,446

※ 浦川原区内の移動販売（平成28年9月から実施）

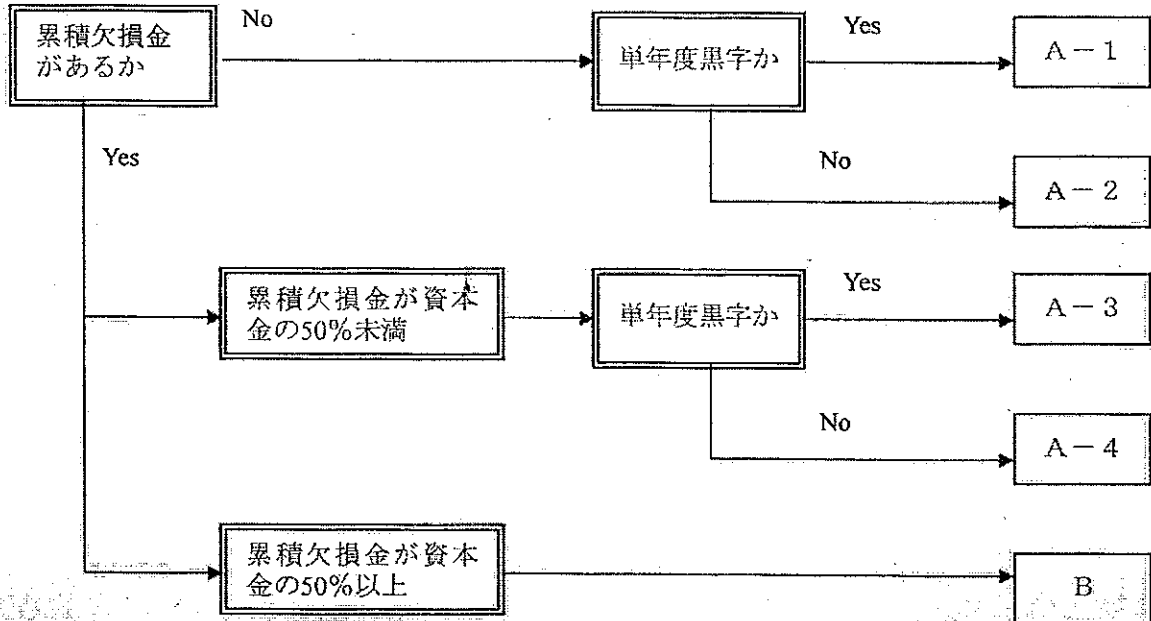
6 財務状況

(単位：千円)

項目	第20期	第21期	第22期	備考	
	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	自平成30年4月1日 至平成31年3月31日		
損益計算書	営業収益(売上高)	63,810	62,599	64,130	
	営業費用	61,970	60,505	62,454	
	売上原価	47,075	45,282	46,429	
	一般管理費・販売費	14,895	15,223	16,025	
	営業利益	1,840	2,094	1,676	
	営業外収益	912	899	896	
	営業外費用	50	37	27	
	経常利益	2,702	2,956	2,545	
	特別利益	0	0	1	
	特別損失	0	0	0	
	税引前当期利益	2,702	2,956	2,546	
	法人税等	180	834	629	
	当期利益	2,522	2,122	1,917	
項目	平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在	平成31年3月31日現在	備考	
貸借対照表	資産	12,985	16,245	16,133	
	負債	5,528	6,666	4,637	
	純資産	7,457	9,579	11,496	
	資本金	11,600	11,600	11,600	
	剰余金・欠損金	△4,143	△2,021	△104	
その他	0	0	0		

7 経営状況の予備的診断

予備的診断フロー



評価 A-3

	評価基準	備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の場合	引き続き経営努力を行う。
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の場合	複数年の経過を注視しながら引き続き経営努力を行う。
A-3	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。
A-4	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努力を要する。
B	累積欠損金が資本金の50%以上の場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

当期末の累積欠損金は104千円であり、資本金11,600千円に対する比率は0.9%となっています。当期を含めて5期連続して単年度黒字を確保しており、改善傾向にあります。尚、残存する累積欠損金104千円については翌期で解消される見込みです。

8 市の関与の状況

(1) 市の委託額

(単位：千円)

内訳	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
① 大島やまざくら指定管理料	3,843	4,252	4,714	
② 大島ゆきわり荘 施設維持管理業務委託料	454	454	454	
③				
④				
⑤				
計	4,297	4,706	5,168	

(2) 市の財政援助額

(単位：千円)

内訳	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
① 補助金(助成金)	0	0	0	
② 貸付金	0	0	0	
③ 損失補償	0	0	0	
④ 債務保証	0	0	0	
⑤ その他()	0	0	0	
計	0	0	0	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

第23期は、売上高63,676千円、当期純利益322千円の計上を目標に掲げ、更なる経営健全化に向けて、次の取組を行います。

1 店舗部門

- ・ 店舗利用者数減少に伴う売上減少対策として、利用者の要望に対応するとともに各仕入先と連携強化することで品揃えを充実させ、売上と利用者数の増加に努めます。
- ・ POSレジの活用により、在庫管理の適正化に努め、廃棄商品を削減するなど収益性の向上を図ります。

2 移動販売部門

- ・ 販売路線の見直しを行うなど、地域利用者の要望にあった内容への改善に努め、売上と収益性の向上を図ります。

【売上目標】

(税抜、単位：千円)

	店舗	移動販売	市からの委託料等	合計
第23期 (令和元年度)	49,100	11,040	3,536	63,676

(2) 中長期経営計画

なし

(単位：千円)

決算書 (P280～P281)	7款1項3目 観光費	所管課等	施設経営管理室 (平成30年度所管は観光振興課)
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
26,187	25,617			2,800	17,142 (街路灯、財源収入 徴収)	5,675
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	570				570	

【目的】

豊かな自然と日本の原風景、そこに生きる人々の暮らしや文化をいかした「体験型観光」の受入れを推進することにより、都市部の住民と地域住民との交流を促進し、民泊等の受入れによる地域経済の活性化を図る。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- ・利用者数：4,500人（うち宿泊者数1,500人、日帰り者数3,000人）

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大島区田麦1096番地2
設置 構造	平成3年度(宿泊棟) 平成5年度(体験棟) 宿泊棟…鉄筋コンクリート造2階建て 体験棟…木造一部2階建て
施設内容	宿泊棟…客室7室、食堂、浴室2室 体験棟…広間、調理体験室、座敷、奥座敷
面積	延床967.07㎡(宿泊棟711.56㎡、体験棟255.51㎡)
管理 利用形態	直営 日帰り及び宿泊施設

○施設の管理実績

・利用者数

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			目標	実績
利用者数	4,445人	4,549人	4,500人	4,522人
うち宿泊者	1,637人	1,260人	1,500人	1,402人
うち日帰り者	2,808人	3,289人	3,000人	3,120人

決算書 (P280～P281)	7款1項3目 観光費	所管課等	施設経営管理室 (平成30年度所管は観光振興課)
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
			予算	実績	
①収入	使用料収入	4,709	3,947	4,417	3,884
	その他	14,384	12,870	13,399	13,258
	合計	19,093	16,817	17,816	17,142
②支出	施設維持管理費	24,412	25,546	25,466	25,617
	うち委託料	11,679	11,768	12,236	12,338
	その他	-	-	-	-
	合計	24,412	25,546	25,466	25,617
③公費投入額(②-①)		5,319	8,729	7,650	8,475
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)		1,197	1,919	1,700	1,874

○目標達成状況

- ・利用者数は4,522人(宿泊1,402人、日帰り3,120人)であり、日帰りの利用者数は目標を達成することができたが、宿泊利用者数で目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・施設を訪れた利用団体数は、滞在体験型観光が13団体(前年度11団体)、合宿利用が4団体(前年度4団体)で、ホームステイや農業・食・工芸体験など都市住民と地域住民との交流拠点施設として活用された。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・過去5年間、利用者数は4,500人前後でほぼ横ばいの状態が続いており、宿泊は滞在体験型観光や合宿での団体利用を中心に、日帰りは地域における法要や同窓会などの宴会利用が中心となっていることから、新規利用団体の獲得に向け、体験プランの見直し等による体験型観光の利用者増加を図るとともに、公費投入額の縮減に向け、管理体制の見直し等により効率的な運営に努める。
- ・宿泊棟・体験棟とともに建設から25年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、利用者の安全や利便性に配慮し、適切な維持管理に努める。

【執行残額について】

その他:事業実施に伴う執行残 570

(単位：千円)

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光費	所管課等	施設経営管理室 (平成30年度所管は観光復興課)
事業名	観光施設等管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
305,434	304,339			118,100	36,846 (繰越金・掛収)	149,393
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,095		37		1,058	

【目的】

当市を訪れる観光客等に対し、宿泊・温浴等のサービスを提供することにより、市内での長期滞在を促すとともに、市民との交流の機会の創出や城内消費の拡大など、地域の活性化に寄与する。

平成30年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○平成30年度目標

- ・指定管理者制度導入15施設のうち、休止中の施設を除く13施設の利用者数 948,634人

<指定管理者制度導入15施設>

- ①五智歴史の里会館
- ②リフレッシュビレッジ施設(くわどり湯ったり村、ヨーデル金谷、ゆったりの家)
- ③安塚雪だるま高原
- ④牧湯の里深山荘
- ⑤柿崎マリンホテルハマナス
- ⑥大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館
- ⑦吉川スカイトピア遊ランド
- ⑧吉川緑地等利用施設
- ⑨吉川ゆったりの郷
- ⑩板倉保養センター
- ⑪ゑしんの里記念館
- ⑫三和ネイチャーリングホテル米本陣
- ⑬うみてらす名立
- ⑭大島あさひ荘(休止中)
- ⑮三和味の謎蔵(休止中)

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光費	所管課等	施設経営管理室 (平成30年度所管は観光振興課)
事業名	観光施設等管理事業		

(参考) 指定管理者導入施設における指定管理者の収支状況 (税抜)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	479,799	481,945	329,800	491,629
	うみてらす名立 管理運営委託料	40,745	40,745	40,745	40,745
	その他	51,911	49,792	211,933	50,297
②支出		601,205	569,845	582,234	582,634
差引 (①-②)		△28,750	2,637	244	37

<大島あさひ荘>

○実施内容、これまでの経過等

- ・指定管理者の経営破綻により平成24年3月1日から平成25年6月30日まで休館。
- ・平成25年7月1日から新たな指定管理者を指定し、宿泊部門を除いて営業を再開したが、平成26年12月をもって指定管理者の指定を取り消し、平成27年1月から休止。
- ・施設休止後、必要な管理を行い、施設の維持、保全に努めた。

○施設の管理実績

・施設における市の収支状況

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	修繕料	100	68	0	0
	大島あさひ荘 管理運営委託料	-	494	652	651
	その他	50	138	94	24
	合計	150	700	746	675
③公費投入額 (②-①)		150	700	746	675
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		-	-	-	-

**第1回 上越市が所有する温浴・宿泊施設等の有効活用に係る
サウンディング型市場調査の結果について**

上越市では「公共施設の適正管理の推進」として、維持管理コストの削減のほか、機能が重複する施設の適正配置や民間譲渡を行うことで、施設総量の抑制と維持すべき施設の長寿命化に取り組んでおり、民間事業者等の皆さんの経験やノウハウを活用し、様々な提案や意見をお聞きすることを目的に、「第1回上越市が所有する温浴・宿泊施設等の有効活用に係るサウンディング型市場調査」を実施しました。今回、その結果がまとまりましたのでお知らせします。

1 調査の対象施設

【温浴・宿泊施設等】

No.	施設名 (条例上の名称)	主な機能
1	キューピットバレイスキー場、 雪だるま温泉雪の湯 (安塚雪だるま高原) ほか	スキー場、キャンプ場、 宿泊、日帰り入浴
2	うみてらす名立	宿泊、日帰り入浴、飲食、プール
3	大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館	日帰り入浴、飲食、プール
4	吉川ゆったりの郷	日帰り入浴、飲食
5	柿崎マリンホテルハマナス	宿泊、日帰り入浴、飲食
6	ゑしんの里やすらぎ荘 (板倉保養センター)	宿泊、日帰り入浴、飲食
7	三和ネイチャーリングホテル米本陣	宿泊、日帰り入浴、飲食
8	くわどり湯ったり村 (リフレッシュビレッジ施設)	宿泊、日帰り入浴、飲食

【休止中の施設等】

No.	施設名 (条例上の名称)	主な機能
9	山荘京ヶ岳 (清里農村体験宿泊休憩施設)	宿泊、日帰り入浴、飲食
10	浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ	日帰り入浴、飲食
11	大島あさひ荘	宿泊、日帰り入浴、飲食
12	三和味の謎蔵、三和米と酒の謎蔵	飲食、博物館

2 主な調査スケジュール

	項目	実施日	
1	実施要領の公表	6月17日(月)	
2	事前説明会	7月16日(火)	
3	現地見学会	① 個別見学会	7月18日(木)～26日(金)
		② フリー見学会	7月17日(水)～26日(金)
4	市場調査(対話)	8月19日(月)～30日(金)	

3 サウンディング型市場調査の結果

(1) 参加事業者数(共同提案を含む)

項目	事業者数
事前説明会	19
現地見学会	15
市場調査(対話)	13

(2) 提案の主な内容

① 温浴・宿泊施設等

施設の利活用等に関する提案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社事業との連携した利活用 ・ 施設をリニューアルし、新たな集客設備の整備 ・ 高級路線など施設コンセプトの転換 ・ テナント事業者としての参画
その他の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者として運営への参画 ・ 施設を譲受して自由な運営による経営 ・ 民間譲渡を進めるのであれば、専門事業者として助言 ・ 第三セクターからの自立した経営 ・ 周辺の古民家を活用したインバウンド誘客

② 休止中の施設等

施設の利活用等に関する提案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の温浴機能を活用した跡地利用 ・ 周辺エリアと一体となった利活用
その他の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺地域に集客施設などを整備し、提案施設を情報発信基地とした地域の活性化

令和元年度「大・浦・安」地域協議会 委員研修会開催要項（案）

【趣 旨】大島区、浦川原区、安塚区の地域協議会委員が一堂に会し、日ごろの活動状況などについて情報交換するとともに、テーマを定めた研修の場として「大・浦・安」地域協議会委員研修会を開催する。

【日 時】令和元年11月29日（金）15時30分から

【会 場】講 演 会 浦川原コミュニティプラザ市民ホール
情報交換会 割烹「わたや」

【内 容】

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| 1. 開 会 | 15:30 |
| 2. あいさつ（浦川原区地域協議会 藤田会長） | |
| 3. 講 演 会 | |
| 講 演 | |
| 演 題：「未 定」 | 15:40～16:40 |
| 講 師：大阪市立大学
都市研究プラザ特別研究員 栗本 裕見 様 | |
| 質疑応答 | 16:40～17:00 |
| 移 動 | 17:00～17:10 |
| 4. 情報交換会 | 17:15～18:45 |
| 割烹「わたや」 | |
| ※うらがわら駅発 19:05（十日町方面）に間に合うようマイクロバスで輸送 | |

【参集者】

- ・大島区地域協議会（中村朝彦会長） 12人
- ・浦川原区地域協議会（藤田宏禎会長） 12人
- ・安塚区地域協議会（數井憲一会長） 12人
- ・各区事務局

令和元年度 幹事

浦川原区地域協議会事務局

浦川原区区総合事務所 総務・地域振興グループ 宮川・青木

電話 025-599-2301